

## 第2回 尾張北部環境組合公害防止準備委員会 議事録（要旨）

日時 令和5年11月2日（木）

午後2時～午後2時40分

場所 江南市役所3階 第2委員会室

### ● 出席者等

出席者：14名 欠席者：4名

No	委員	役職等	欠席
1	眞野 敏 委員	中般若区 区長	欠席
2	野呂 隆昌 委員	中般若区 副区長	欠席
3	伊神 武司 委員	草井区 区長	
4	伊神 莊二 委員	草井区 副区長	
5	白石 政孝 委員	般若区 区長	副委員長
6	今井 真澄 委員	般若区 副区長	
7	大竹 宏和 委員	小淵区 区長	
8	箱山 芳一 委員	小淵区 副区長	
9	小室 明正 委員	南山名区 区長	
10	小川 和男 委員	南山名区 副区長	
11	三品 千晃 委員	山那区 区長	
12	倉地 弘美 委員	山那区 副区長	欠席
13	林 進 委員	岐阜大学名誉教授	委員長
14	中村 達司 委員	犬山市経済環境部長	
15	平野 勝庸 委員	江南市経済環境部長	
16	水野 眞澄 委員	大口町まちづくり部長	欠席
17	長谷川 明夫 委員	扶桑町生活安全部長	
18	相京 政樹 委員	江南市環境課長	

傍聴者：0名

## 1 挨拶

## 2 議事

### (1) 新ごみ処理施設建設工事の進捗状況について

事業者より資料1を用いて説明。

(事務局)

前回話題に上がりました事業地内に営巣するホンドキツネについては、工事開始に伴い事業地内の巣から出ていき、現在も引き続き行動圏内に設置したカメラで行動を追っていきます。

(委員長)

ホームページのURLも良いですが、二次元バーコードを載せてみてはいかがでしょうか。

(事業者)

検討します。

(委員長)

進捗状況は何かあれば変わっていきますので、ホームページ等で確認していただければ良いと思います。

### (2) 煙突から出る臭気について

事業者より資料2を用いて説明。

(委員)

表の中のダウンドラフトについて、煙突から排出される煙が風下にある建物の後ろで生じる渦に巻き込まれて降下し滞留を起こす現象で、これに伴い大気中に拡散されるはずの汚染物質が建物付近に溜まり環境汚染を進行させます。

今現在、小淵の大垣扶桑紡績の跡地に物流倉庫が建てられようとしている、環境調

査をした時の条件とは著しく変わったと思うので、影響が無いか一度調べるよう検討してください。

(事業者)

ご理解のとおりダウンドラフトは隣に大きな建物があって、煙突からの排ガスは基本的には上に向かって行きますが、その上昇力よりも大きな壁があって、そこに渦ができると巻き込まれて、下に行きやすい状態の事を予測してしまして、この予測自体が危険側で予測をしていて、いろんな状況でも問題が無い事を確認しているのが環境アセスになります。ダウンドラフトもそのひとつで、厳しい条件で生活環境に与える影響を評価しています。

(委員)

今の説明では理解できないので、建設中の建物があるとどれぐらい環境の影響が予想されるのか一度見ていただいて、私の家はそこから20m位しか離れていない、横の長さが100m以上の物流倉庫で高さもあり、今回の焼却施設位の大きさがある。

(委員長)

濃度を出されているが、大気中でどういう動きを示すか、建物の大きさ高さ、風向きで分析できますか。

(事業者)

確認させていただきます。

(委員長)

溶液の話ですが一般的に濃度が薄いものを注入すると霧散が早いですが、大気中の排出ガスの場合、関係条件によって動きが違ふと思う、一年通じて温度分布の状況によって排出ガスの動きも変わってくる、いわゆるヒートアイランド現象で気象学的な問題だけではなく、大気汚染にも応用されているので建物ができる事によって明らかに大気の大気対流が変わるので所謂ビル風が起こったりして熱の塊ができる、それと大気中の浮遊物質の動きは密接に関係しているのではないかと気象学でも指摘されているので、それも

含めて検討していただいて安心できるデータを提供していただければと思います。

### (3) 工事車両の搬入路について

事業者より資料3を用いて説明。

(委員)

早速ご検討いただきありがとうございます。あとは通行者と車をくれぐれもよろしくお願ひします。

### (4) 植栽計画について

事業者より資料4-1、4-2を用いて説明。

(委員長)

資料4-1にクヌギとありますが、この地域には圧倒的にアベマキが多いと認識しています。クヌギで間違いないでしょうか。

それと、資料4-1のノボタノキでイボタノキは聞いた事があるがノボタノキは聞いた事が無い、モチギはモチノキの事でしょうか。

(事業者)

専門家ではないので、どれがどのような木なのかは具体的にお答えできません。

(委員長)

社会学的な名称で標記しないといけないというものではないのかも知れませんが、低木でヤブコウジ、アオキは良いですね、ツツジは色々種類があるので何のツツジか丁寧に書いた方が良いでしょう。マンリョウは大きくて1m、ヤブコウジはもっと小さいこれらを我々は草本層と言います。全部含めて低木としていると思いますが、地表面に近い部分をどうするのか丁寧に書かれた方が良いでしょう。植栽計画に係わってくるとはありますが、その辺りご検討をお願いします。

(事業者)

地表付近と言うお話がありましたが、当初は低木に根笹を入れていたのですが、県に相談したところ対象にはならないという事でこのようなかたちになっています。

(委員長)

クヌギとアベマキについては実際どうなのですか。

東日本、西日本にアベマキが多く、東海地方はクヌギが多いです。

すぐにわからなければ結構です。

(事業者)

選定をした時には伐採がある程度進んだ範囲の中で集中したエリアになってしまったのですが、その中で今の段階から4年後を見据えて適度な細さや高さだったりで選んだ結果、このようなものになりました。

(委員長)

将来どうするのかは別として、子供たちの環境学習の際には名称が間違っているといった指摘が無いようにしてください。

### 3 その他

(事務局)

次回の公害防止準備委員会は2月19日(月)の午前10時に開催予定です。

#### 委員長閉会あいさつ

これをもって、本日の公害防止準備委員会を閉会する。

(閉会)